



誰しも持つてゐます。

さういふ詩集は

見せた方がよい。

あなたはかりではないが

若い時の詩集。

かくさないでー。

見せてください

懐中にある

誰しも持つてゐます。

さういふ詩集は

一しよに湧き出でた頃の
詩集。

涙も、

人恋しく、

なつかしく、

歌はないであられない

つきつめてゐるでせう。

無分別で、

まづいでせう、

詩集でせう。

秘めて置いて

書いてあるでせう。

過ぎて行く

思ひ出してみることです。

春の心になるやうに

春が来る毎ごとに

大切にしまつておいて

人に見せないまでも

春の詩集

河井 醉茗

見せて下さい。

あなたの古い詩集を

春になりました。

季節はまた

併し